

日本地球電気磁気学会会報 (第70号)

1976年6月12日

日本地球電気磁気学会

連絡先 (〒113) 東京都文京区弥生2丁目11の16

東京大学理学部地球物理学教室内

電話 03-812-2111 (内線6476)

I. 第59回総会報告

第59回講演会は理化学研究所のお世話で5月24日～27日の4日間、同研究所内で開かれました。総会は5月26日午後、平沢威男会員を議長として開かれました。

- 1) 大会委員長挨拶 (宮崎友喜雄会員)
- 2) 運営委員会報告 (国分征運営委員)
- 3) 田中館賞授与

第70号小山孝一郎会員「清浄化したプローブによる電離層電子密度の研究」

- 4) 田中館賞審査報告
- 5) 上山委員長挨拶
- 6) 昭和50年度決算について (別記)
運営委員会提出の決算案を承認
- 7) 昭和51年度予算について (別記)
運営委員会提出の予算案を承認
- 8) 次期および次々期開催地について

次期開催担当機関として九州大学理学部を確認。次々期については運営委員会の考えとして河島委員から、極地研究所にお願いしたいとの提案があった。鮎川会員 (極地研) から、所内で相談し、引き受ける

方向で検討したいとの挨拶があった。

9) その他

イ. 学会財政を助ける意味で、賛助会員は単年度でも良いということで募集してはどうかという意見が出され、運営委員会で検討することとした。

ロ. JGG誌査読者に対する謝金(1,000円)を打切ったことについて、再考を促す意見が出て、運営委員会、編集委員会で検討することとした。

10) 謝辞(小口高会員)

II. 新入会員

前回会報以降下記の方々が入会され、総数442名となりました。

井上隆義	(京大理)	滝沢美代子	(極地研)
森田護	(京大理)	浜真一	(東大理)
津田敏隆	(京大工)	西谷忠師	(東大理)
中塚正	(地質調)	久保治也	(宇宙研)

昭和50年度決算

収入の部		支出の部	
正会員会費	1,664,056円	会誌出版分担金	1,530,000円
学生会員会費	91,000	編集分担金	300,000
外国・団体会費	26,506	会報等印刷費	62,240
予稿集売上	667,845	会誌発送費	162,805
利子収入	139,291	第57回総会費	450,000
出版助成金	1,530,000	第58回総会費	441,000
前期繰越金	2,733,243	通信郵送費	57,480
	6,851,941円	会合費	22,200
		田中館賞経費	75,151
		雑費	81,635
		会員業務委託費	255,036
		会計業務委託費	100,000
		繰越金	3,314,394
			6,851,941円

昭和51年度予算

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	3,314,394円	第59回総会費	420,000円
学会費	1,700,000	第60回総会費	420,000
賛助会員会費	20,000	会誌編集分担金	300,000
予稿集売上	600,000	田中館賞経費	40,000
預金利子	150,000	会員業務委託費	308,000
	5,784,394円	会計業務委託費	100,000
		通信郵送費	300,000
		会報等印刷費	80,000
		学会役員選挙費	80,000
		会合費	30,000
		雑費	100,000
		繰越金	3,606,394
			5,784,394

Ⅲ. 運営委員会報告

1) 特定研究分野の申請について

昨年来運営委員会では、本学会の数年後を展望すると、文部省科研費の特定研究分野の指定を受けることが望ましいのではないかとの見通しにたって、いろいろと検討を進めております。研究者の共通の了解が得られ、且時代主導型のもので「惑星の生成と進化」というテーマを現在考えております。しかしこのテーマに関しては、本学会だけでなく広く関連分野の方々の理解と協力が必要であり、そのためには本学会内はもとより、これら関連分野の方々と具体的計画を充分煮詰めるため、1～2年が必要ではないかと考えられます。

そして一方で帝京大学田中信徳教授を代表者とする特定研究分野「生命の起源と進化」の申請準備が具体的に進行していますので、現時点ではそれへの協力と参加が現実的であるという判断にいたりました。

惑星・地球の進化と生命とは不可分の関係にありますので、いずれ本学会が積極的に努力して、地球物理各分野および生物科学分野の協賛を得て、「惑星の生成と進化」というテーマの特定研究分野を申請する好機がいつれ訪れると考えられますので、運営委員会は引きつづき検討と準備を進めて行くことにしました。

Ⅳ. おしらせ

(1) 第60回総会並講演会について(一部既報)

期 間 昭和51年10月25日(月)～28(木)

会 場 福岡市民会館

申込および予稿締切 9月1日(水)

宛 先 〒606 京都市左京区北白川追分町

京都大学理学部地球物理学教室

荒 木 徹

(2) 各種助成金等の学会推せん手続きについて

本学会の中から、規定数以上の応募があった場合のことを考えて、申請締切の5日前までに、学会事務所に応募の意志を表明して下さい。

(3) 昭和51年度 College Women's Association of Japan 奨学生募集について

募集人員 女性2名、支給額150万円

対象：海外英語圏への大学院留学を希望する女性

申請用紙送付申込み先 〒152 東京都目黒区自由ヶ丘2-8-5
等 松 史 子 (9月1日～30日)

(4) 月・惑星シンポジウム

期 間 7月1日～3日

会 場 東京大学宇宙航空研究所

I M S シンポジウム

期 間 7月8日～10日

会 場 東京大学宇宙航空研究所

海洋研究の将来像に関するシンポジウム

期 間 7月1日～2日

会 場 東京大学海洋研究所

(5) 地球内部ダイナミクスに関する国際シンポジウム

GDP国際シンポジウムは1978年3月東京で開催されますが、本学会も他の関係10学会とともに共催団体として参加することになりました。

(6) I A G A 3rd General Sci. Assembly (Aug. 22-Sep. 3,

1977, Seattle) の1st circularが学会事務所に届いております。

関心をお持ちの方は学会事務所迄御問い合わせ下さい。なお2nd circularの送付を御希望の方は下記へ直接御連絡下さい。

American Geophysical Union
1909 K Street, N.W.
Washington, D.C. 20006
U. S. A

(7) 日本学術会議総会報告の要約が学会事務所へ送付されております。お読み
になりたい方は学会事務所までお申出下さい。